

① 勉強会の開催

- 会員の恵みの森づくりに関する知見を広めるため、森や木など様々な分野の講師を招き、勉強会を開催

○5月28日(木) 第13回勉強会（現地研修：郡上市美並地内）

- ・ 「1810年から続く古川家の森林づくりについて」
講師：（有）古川林業 専務 古川氏
内容：1810年から世代を超えて引き継がれる
古川家の森林づくりの考え方・管理手法
1年生の森林、伐期を迎えた90年生の森林等の現地調査
- ・ 「理想の森林について」（意見交換）
ファシリテーター：岐阜県林政課 大洞技術主査
内容：代表的な森林の事例紹介
理想の森林について、木材利用、環境保全、観光等
幅広い視点で議論
- ・ 「全国緑の少年団活動発表大会に向けた記念品開発について」
（意見交換）
内容：試作品の中間報告（森林たくみ塾、加子母森林組合）
会員間で検証し、改良点等を提案



1810年から世代を超えて引き継がれる
森林づくりの考え方・管理手法



岐阜県らしい思い出に残る記念品を開発するため
活発に議論

○8月9日(日)～10日(月) 第14回勉強会

・8月9日(日)

「森の恵みと全国育樹祭」 主催：森林たくみ塾
(フォーラム：高山市 高山市民文化会館)

出演：今井林野庁長官、俳優竹下景子氏、稲本会長
内容：森林の現状と未来について考えるシンポジウム
森林の活用事例の発表
恵みの森づくりコンソーシアムの取り組みを発表
(伊藤副会長)

・8月10日(月)

「森の恵みの活用について」 (現地研修：高山市清見町)

講師：オークヴィレッジ(株)、正プラス(株)
内容：モノづくりの考え方と製作工程(オークヴィレッジ(株))
精油(アロマオイル)としての森の恵みの活用(正プラス(株))

「次世代へつなぐモノづくりについて」

(現地研修：高山市清見町)

講師：森林たくみ塾
内容：モノづくりの考え方
後継者育成に向けた技術の継承



恵みの森づくりコンソーシアムの取り組み
(事例発表：伊藤副会長)

○11月30日(月) 第15回勉強会(現地研修)

「200年伐期を目指した森林施業」
(三重県伊勢市：伊勢神宮宮域林)

講師：神宮司庁 村瀬事業課長、中川技師

内容：伊勢神宮が管理する森林(宮域林)の現地調査
大正初期に考案された200年伐期の森林施業
伊勢神宮と森林・木材に関わる歴史



200年伐期を目指した森林施業(伊勢神宮宮域林)

○2月8日(月) 第16回勉強会(講演会：岐阜市)

「温暖化問題と森林保全」

講師：名古屋大学大学院環境学研究科 高村教授

内容：社会問題の一つであり、生態系や私達の生活にも影響を受け始めている地球温暖化について検討



伊勢神宮の歴史

② 各種イベントにおいてPR活動を実施

■ 新規会員の加入や、活動を広くPRするため、各種イベントに出展

○8月1日(土) 木づかいシンポジウム
(ぎふ山の日フェスタ2015と併催)
岐阜市(じゅうろくプラザ) 来場者 約500人

○8月9日(土) 森の恵みと全国育樹祭(第14回勉強会)
高山市(高山市民文化会館) 来場者 約500人

○10月11日(日) 全国育樹祭 おもてなし広場
揖斐川町谷汲(谷汲緑地公園) 来場者 約5,000人

○10月24日(土)~25日(日) 森と木とのふれあいフェア2015
岐阜市(県庁前芝生広場) 来場者 約60,000人

○通年
コンソーシアムをPRする小冊子を作成し、
育樹祭をはじめとする各種イベントで配布



イベント会場の様子

③ 第39回全国育樹祭併催行事 「全国緑の少年団活動発表大会」 記念品開発



- 恵みの森づくりコンソーシアム会員により試作品7種を開発
- 岐阜県らしい思い出に残る記念品
配布数 570個（緑の少年団員ほかへ配布）

大会記念品 フォトフレーム



その他の試作品



フォトフレームB



フォトフレームC



マルチスタンド



バッジ



マグネット



コースター